

(事業報告書様式 1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	こども自然公園自然体験施設
所在地	横浜市旭区大池町 65-1
公園面積、公園種別	464,118 m ² (うち、指定管理区域：約 56,000 m ²) 広域公園
主な施設	水田、湿地、雑木林、畑、建物等
特徴	<ul style="list-style-type: none">・江戸時代中期に灌漑用水池として作られた大池を中心に、丘陵地にゆったりとした良好な自然が残され四季折々の景観を楽しむことができる。・万騎が原ちびっこ動物園・青少年野外活動センターなどが併設され多様な形で自然を理解することができる。・自然体験施設は、谷戸田や雑木林などのかつての里山が残されているエリアに設置されている。
公園開園日	1972 (昭和 47) 年 6 月 5 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人こども自然公園どろんこクラブ
代表者名	佐々木明男
所在地	横浜市旭区大池町 65-1
指定管理期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	平成 22 年 4 月 1 日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

- ① 谷戸田や雑木林をフィールドとして、農作業を通じた自然体験により自然の大切さを実感するとともに収穫の喜びを得る場とする。
 - ・管理エリアである水田、畑、里山エリアを活動拠点とする年間コースを開設した。
 - ・水田では、一般公募で水田体験をする場を年6回開催した(タノシゴトシリーズ)。
- ② せせらぎや谷戸田の水辺の自然環境がもたらす豊かな生態系の維持保全を図る活動を推進する。
 - ・水田は冬場に水を溜め(冬期湛水)、カエルをはじめとする生きものの生態系の維持保全を行った。
 - ・せせらぎや湿地は、定期的に泥上げを実施した。
- ③ 参加者はこどもを主体としながらその家族や近隣の小学校、周辺住民へと輪を広げ、世代間の交流や多様な自然とのふれあいを創出する。
 - ・将来を担う子どもたちに身近な自然を知ってもらえるよう、近隣小学校を含む小学校の遠足や校外学習の機会には、環境学習の要素を必ず取り入れ実施した。
- ④ 水田での稲作及び周辺の自然を活かした自然体験活動を行ない、子どもの健全な育成に寄与するとともに、公園の有効活用及び地域の振興を図る。
 - ・①を実施することで自然体験を行ない、さらに収穫した米や野菜などを利用したイベントの開催を定期的に行ない、地域の皆さまにも広く楽しんで親しんでいただいた。
- ⑤ 動植物の生態系を管理するため、指標生物のモニタリング調査をゾーンごとに行なう。
 - ・【雑木林エリア】ここ数年続いていたカシノナガキクイムシの被害がほぼ落ち着いてきた。被害木が増えたことにより、樹液を出す木が増え、カブトムシやクワガタ類の姿が一昔前に比べ若干増えてきた。
 - ・【湿地のあるエリア】この10年で湧水量の減少が続き、湿地を保つことが難しくなり、アシやスゲ類の勢いが増しているため、今年度も定期的な開墾作業を続けた。また、公園の整備とともに造成された部分に関しては、チョウのためのガーデン作りをはじめ、蜜源となるハーブ類や宿根草を中心とした、昆虫のためのエリアとなるとともに来園者が見て楽しんでもらえるような場所として手入れを継続した。

2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

利用促進では、身近な公園に自然体験をする場があることを多くの人に知ってもらうため、定期的に一般の方が参加できるイベントを開催。例えば水田では、タノシゴトシリーズを開講し、単発でも水田を体験できる場を開催した。また、収穫物を利用するイベント（どんど焼き、梅の花茶屋、さくら茶屋、こどもの日まつり）のほか、外部開催のジャズまつりに協力をし、五平餅やお餅、お団子等の提供をした。

市民協働等については、年間の各コースで継続して参加してもらう場（ボランティア活動）を設けることで、自分たちが経験したことを次年度以降も繋いでいけるよう心がけ、本年度もそれぞれのコースで新たなボランティア継続家族を獲得した。

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

① 自然体験施設の「維持管理基本水準書」、「自然体験施設等維持管理マニュアル」に従って管理をしていきます。

管理作業を行なう際には、上記2つの水準書とマニュアルに沿った作業となるよう、スタッフと打ち合わせを行ない実施した。

② 横浜に残された雑木林や湿地(田んぼ)などを維持し、生態系の豊富化をはかります。

・利用者が安心して、安全快適に過ごせるように施設の維持管理を行ないます。
→活動前には必ず下見を行ない、安全に活動できるよう整備を行なった。

・横浜に残された雑木林や湧水、谷戸田のある風景を残すための管理を行ないます。
・維持管理水準書に基づき、日常点検、巡回を行ないます。
・危険箇所の早期発見に努め、早めの対処をします。
・施設の清掃をこまめに行ない、清潔にします。
→日常的に巡回をすることで、危険箇所等を早期に発見し対処することができた。特に近年では、ゲリラ豪雨や春先の大風等、台風以外での天候でも危険な場合が多く、このような天候の後には必ず巡回を行なった。

・整理整頓をし、施設を気持ちよく利用できるようにします。
→四半期に一度は事務所内や倉庫を大々的な整理を実施した。

・維持管理の勉強会を開催し、スタッフへの教育を行ないます。
→脱穀機や粃摺り機の調整方法について農機具メーカーさんに教えてもらった。

- ・利用者とのコミュニケーションを大切に、情報収集を行ないます。
- 園内を散歩されている方や、写真を撮っている方と顔を合わせた際には、挨拶をしながら立ち話をする事で、様々な情報交換をすることができた。たとえば、「どこそでこんな花が咲きだしたよ」とか「この花にこんな虫が来てるよ」とか「珍しい鳥が立ち寄ってるよ」など、我々だけでは気づかない情報をたくさん教えていただいた。
- ・維持管理のための年間計画を立てます。
- ・スタッフミーティングを適宜行ない、計画のチェックを行ないます。
- スタッフミーティングを開催し、情報の共有を行なった。今期は特に、草刈り機や木材チップの安全な取り扱いについてのミーティングを行なった。

(事業報告書様式3)

令和6年度文化・自然体験施設利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

月別	文化・自然体験 施設の利用人数	備考
4月	345人	各コース、一般公開（サクラ茶屋等）
5月	1924人	各コース、一般公開（こどもの日、タノシゴト、YNW、環境学習）
6月	446人	各コース、一般公開（タノシゴト）
7月	216人	各コース、一般公開（タノシゴト）
8月	260人	一般公開（学びクラブ、旭ジャズまつり）
9月	128人	各コース、一般公開（大井町コラボイベント）
10月	305人	各コース、一般公開（タノシゴト稲刈り）
11月	524人	各コース、一般公開（タノシゴト脱穀）
12月	230人	各コース、一般公開（タノシゴト餅つき）
1月	709人	各コース、一般公開（どんど焼き）
2月	534人	各コース、一般公開（梅の花茶屋）
3月	259人	各コース、一般公開（タノシゴト蕁）
年間合計	5880人	

こども自然公園自然体験施設 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式4)

令和6年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名または直 営かの記載
該当なし			
合計			

(事業報告書様式5)

令和6年度増減備品一覧 (※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
脱穀機					1	6.5.24	故障
脱穀機		671,000	1	6.4.15			

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	管理エリア内では該当なし		

事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	管理エリア内では該当なし		

(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

*別紙

こども自然公園自然体験施設 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1			

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
ひな祭り	今年度も新たに1組のお雛様を寄付していただき展示することができた。	不明	07.2.23～ 07.3.8
水遊び企画	夏場の熱中症対策を兼ねて、イベントの際にミストや簡易ホースでの散水などを試みた。	不明	06.8.10 06.8.11 06.8.25

有料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業 収入(円)
さくら茶屋	水田のもち米を利用した団子や畑のサトイモ等を提供	150	4.7	3,300	18,500
自然体験コース体験料	年間を通し自然体験をするコース。水田、畑、里山の3コースを開設した。 身近の所で自然体験ができるということで、毎年人気の自然体験コースとなっている。また、ボランティアへの継続もあり、コース活動の力強い助っ人となっている。	166 (登録)	年間	102,640	703,000
こどもの日まつり	水田の体験活動で収穫したうるち米ともち米を使ったお団子等の提供と、子どもたちに楽しんでもらうためのヨーヨー釣りなどを実施した。	300	5.4	21,319	33,300
パークデイ	相鉄のネイチャーウィークの開催時に合わせ、自然体験コーナーを開設。初めての場所(水田休憩舎	1500	5.18 5.19	93,281	278,450

	周辺)での開催だったが、ネイチャーウィークのメイン会場までの中間地点に位置するため、大勢の方が足を止めて、いろいろな体験に参加をしてくれた。				
ペットボトル顕微鏡づくりと観察	夏休みの宿題対策も兼ねて、簡単に作れる顕微鏡と植物などの観察を実施。 小学生以上のお子さんを対象に募集をし、しっかりと学んでもらえた。	30	8.10	30,000	14,500
ザリガニ釣りとお観察	管理地内の池にて、ザリガニの駆除をしつつ、釣ったザリガニについての学習をした。ザリガニ釣りということで、非常に人気が高く抽選になるほどだった。	30	8.11	0	13,000
旭ジャズまつり	昨年より開催時期を7月末から8月末に変更して行なわれるようになった。 若い人たちにも楽しんでもらいたいということで、旭区役所とともに入り口広場にて「音育」というテーマを設けて開催することができた。	200	8.25	30,710	45,450
小学校等校外学習対応	今年度は3校4回実施をした。実施内容としては、間伐材を利用したクラフト体験、身近な自然の観察(池、森、昆虫、野鳥、植物)や、間伐体験、草木染め体験など。	234	10.15 10.29 11.8 11.9	0	139,500
帷子川環境学習	旭区主催の環境学習で、我々は講師として協力。今年度で17年目にはいった。 昨年からは現地学習が復活し、子どもたちが生き生きと活動する姿を目にし、改めて体験するということの重要性を再確認することができた。		6.20 6.25 6.26 7.3	150,000	412,500

タノシゴト	<p>年間を通し、単発で水田を体験してもらった。</p> <p>（田おこし、田植え、田の草取り、稲刈り、脱穀、もちつき、落ち葉掻き、藁仕事の8回実施）</p> <p>年々定着をしてきており、特に田植えに関しては非常に応募が多い回となっている。今年度は、落ち葉掻きという作業を追加して体験してもらったが、日常ではなかなかできない体験のため、子どもたちが生き生きと落ち葉と戯れている姿が印象的だった。</p>	420	<p>5.25</p> <p>6.9</p> <p>7.21</p> <p>10.14</p> <p>11.10</p> <p>12.21</p> <p>2.16</p> <p>3.8</p>	304,590	798,000
どんど焼き	<p>定番のイベントとなり、近隣にも知れ渡っているようで、どんど焼きのお飾りを持ってくる方が年々増えている。</p> <p>また、水田のもち米で作るお餅も毎年好評ですぐに売り切れてしまう。そのため、売り切れる前に並んででも買いたいという方たちが増え、長蛇の列となってしまっている。並んだのに買えないといった声も多く、来年度に向けて改善をしなければならない課題となった。</p> <p>また、昨年好評だった繭玉団子を、今年度は販売をすることにしたが、こちらもあっという間に完売する人気だった。</p>	550	1.11	24,562	101,800
梅の花茶屋	<p>今年も水田でとれたお米から作った甘酒と五平餅を提供することができた。</p> <p>梅の開花が少し遅れていたようで、茶屋のときには5分咲き程度だったが、甘酒や五平餅を楽しみにしてくれており、こちらも長蛇の列となってしまった。</p>	450	2.22	11,803	97,250

こども自然公園自然体験施設 令和6年度 事業報告書

合計				772,205	2,655,250

備考：自主事業費の使途内容としては、物品の購入や消耗品の購入、講師謝金等となっています。

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
なし					

こども自然公園自然体験施設 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位: 円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	11,253,484		11,253,484	11,924,484	-671,000	
利用料金収入	0		0	0	0	
自主事業収入	1,970,000		1,970,000	2,655,260	-685,260	
横浜市による運営支援	0	150,000	150,000	0	150,000	横浜市による賃金水準変動対応に伴う指定管理施設運営支援 150,000 円
横浜市負担金	0		0	0	0	
雑入	0		0	720	-720	
その他雑入	50,000		50,000	737,881	-687,881	
収入合計 (a)	13,273,484		13,423,484	15,318,345	-1,894,861	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	9,060,000		9,060,000	8,501,040	558,960	
給与・賃金	7,500,000		7,500,000	6,870,877	629,123	
社会保険料	800,000		800,000	660,667	139,333	
通勤手当	500,000		500,000	705,976	-205,976	
福利厚生費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	140,000		140,000	143,520	-3,520	
退職給付引当金繰入額	120,000		120,000	120,000	0	
事務費	2,210,000		2,210,000	5,999,738	-3,789,738	
旅費	100,000		100,000	0	100,000	
消耗品費	600,000		600,000	1,938,309	-1,338,309	
会議賄い費	100,000		100,000	70,062	29,938	
印刷製本費	100,000		100,000	0	100,000	
通信運搬費	200,000		200,000	388,504	-188,504	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
（横浜市への支払い分）	0		0	0	0	
（その他）	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	2,502,165	-2,302,165	
保険料	60,000		60,000	50,310	9,690	
振込手数料	250,000		250,000	0	250,000	
リース料	350,000		350,000	350,152	-152	
手数料	50,000		50,000	260,000	-210,000	
その他事務費	200,000		200,000	440,236	-240,236	
自主事業費	923,000		923,000	772,205	150,795	
管理費	380,000		380,000	0	380,000	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費（電気）	※横浜市負担					
光熱水費（ガス）	※横浜市負担					
光熱水費（水道）	※横浜市負担					
光熱水費（下水道）	※横浜市負担					
清掃費	180,000		180,000	0	180,000	
修繕費	100,000		100,000	0	100,000	
機械警備費	0		0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	100,000		100,000	0	0	
施設（建物）・設備保守	0		0	0	0	
園地管理費	100,000		100,000	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
公租公課	600,000		600,000	5,000	595,000	
公租公課（事業所税）	0		0	0	0	
公租公課（消費税）	500,000		500,000	0	500,000	
その他公租公課	100,000		100,000	5,000	95,000	
事務経費（本部分）	0		0	0	0	
雑費	100,484		100,484	0	100,484	

こども自然公園自然体験施設 令和6年度 事業報告書

支出合計（b）	13,273,484		13,273,484	15,277,983	-2,004,499	
差引（a－b）	0		150,000	40,362	109,638	

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	120,000		120,000	437,881	-317,881	
設置管理許可支出合計（d）	50,000		50,000	76,406	-26,406	
差引（c－d）	70,000		70,000	361,475	-291,475	

（事業報告書様式12）

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：達成目標、運営業務の実施方針、個別課題)	・参加者アンケートの実施 ・北部公園緑地事務所や公園内の他の施設との協働によりイベントを実施	新しい取り組みについてはアンケート（自由形式）を配布し記入してもらった。	△	当団体は、公園全体の指定管理者ではないため、また来園者が集まる場所（レストハウスおよび休憩舎）も指定管理ではないため、アンケートの内容については協議する必要がある。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	・計画した人員の配置 ・資格取得、講習修了	概ね、計画した通りに配置することができた。 今年度は、資格取得に該当する者がおらず実施しなかった。	○	
業務運営3 (事業計画書様式3：利用者サービスの向上・利用促進策)	・指定管理業務のイベント（どんど、梅、観察会等）の実施 ・自主事業提案のイベントの実施 ・新規事業の実施	指定管理業務および自主事業提案のイベントについて、滞りなく実施することができた。	○	

<p>業務運営4 (事業計画書 様式3: 広報・プロモーションの取組)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新 ・SNSへのアップ ・地域情報誌等メディアへの情報提供 ・周辺小学校へのチラシ配布 	<p>イベントの発信を中心にアップすることができた。梅の花の開花時期には、地域の情報誌からの取材などもあった。近隣小学校のご協力もあり、大々的に募集をする際にはチラシを配布していただいた。</p>	<p>○</p>	<p>ホームページの体裁を見直し、年度末に新しいホームページに変更することができた。同時に、公式 LINE を取得し、発信の強化に努める。</p>
<p>業務運営5 (事業計画書 様式3: 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成 	<p>自然体験コースにおいて、新規のボランティア登録を獲得することができた。</p>	<p>○</p>	
<p>業務運営6 (事業計画書 様式3: 市の施策への協力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性への協力 	<p>自然体験コースにおいては、生きものに配慮した活動を実施した。 日常的な管理においても、草刈りの時期や範囲に配慮し、生きものに影響がでないよう注意をしながら進めてきた。</p>	<p>○</p>	
<p>業務運営7 (事業計画書 様式4: 文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昔ながらの水田の姿を見てもらうため、湧水を利用した水田管理の実現 ・年数の経った雑木林の更新と、雑木の循環を活動に活かす ・人の手が入った湿地管理 	<p>湧水を利用した米作りを実施した。 ズーラシアとのコラボによる雑木林育成のための常緑樹間伐体験も復活をし、森づくりの体験ができた。 湿地に関しても、ボ</p>	<p>○</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・それらを実施することで、生物の多様性が生まれることを、生き物観察等で見せる 	ランティアの人力による泥上げ作業により、一時期スゲ類に一面覆われていた湿地が開墾された。		
業務運営8 (事業計画書様式4:施設(建物等)、設備の維持管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に建物の内部および外部の整理整頓、清掃の実施 	常に整理整頓や清掃を実施するようにしているが、事業を優先することで、なかなか進めることができない。	△	毎年の課題だが、人員配置をイベントに集中させており、後回しになりがちなところを改善する必要がある。
業務運営9 (事業計画書様式4:樹木、植栽等の管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・カシノナガキクイムシの被害を確認するため、年に数回の樹木チェックを行ない、枯木に関しては冬場に伐採を行なう。 ・園路側のガーデン部分については、定期的に管理を行ない、花の時期に来園者の皆さまが楽しめるように管理する。 	被害が落ち着いてきたが、樹齢の古い木が自然と枯れていく状況は変わらず、少しずつ伐採を進めている。 園路側のバタフライガーデンをはじめとするガーデン部分については、定期的に手入れを行ない、来園者の皆さまから「楽しみにしている」というお声を数多くかけていただいた。	○	園路側のガーデンの目的や植えてある草花の表示などを、来園者にわかるような説明を作っていきたい。

<p>業務運営 10 (事業計画書 様式 4 : 巡 視・清掃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に管理地内の巡回を行なう。 ・事務所の清掃は、適宜行なう。 ・展示物等の整理、清掃を定期的に行なう。 	<p>管理地の巡回を定期的に実施した。 水槽展示は人気があり、定期的に水替えや生体の状態をチェックし、来園者が楽しんでもらえるよう工夫をした。</p>	<p>○</p>	
<p>収支 (事業計画書 様式 7 : 収入 確保、経費節 減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験施設や施設の置かれているこども自然公園を有効に活用したイベントを実施。 ・間伐した材を、薪として販売したり、間伐材を利用したイベントの実施を行ない、間伐材を処分する費用をかけず、管理をする。 	<p>イベントについては、定期的に実施することができた。 カシノナガキクイムシの影響が少なくなり、徐々に薪の販売を再開することができた。</p>	<p>○</p>	